

トピックス 詳細

HOME トピックス 一覧 詳細

その他 2014年09月05日

第55回大気環境学会年会併催公開国際シンポジウムを開催します【9月18日(木)】

平成26年9月17日(水)～19日(金)の間、城北キャンパスで開催される第55回大気環境学会年会と併せ、公開国際シンポジウムを9月18日(木)に開催します。

第55回大気環境学会年会ホームページ

公開国際シンポジウムは、一般の方も無料で参加できますので、ぜひご参加ください。

日時

平成26年9月18日(木) 15:50～18:00
(15:00～受付開始)

場所

愛媛大学城北キャンパス南加記念ホール
(〒790-8577松山市文京町3)

参加費

無料(※申込は不要です)

講演言語

英語(英日同時通訳, イヤホンを無料で貸し出します)

テーマ

オゾン, VOC, PM2.5の生成機構解明と対策シナリオ

プログラム

座長: 大原 利真(国立環境研究所), 神田 勲(愛媛大学)

15:50 - 開会挨拶 若松 伸司(愛媛大学)

16:00 - ビクトル・パラモ博士(メキシコ, 国立環境気候変動局), SATREPS(JST/JICA)

「メキシコにおけるオゾン, VOC, PM2.5の生成機構解明と対策シナリオ」

16:25 - ペク・スンオク教授(韓国, 嶺南大学校環境工学部)

「韓国におけるPM2.5と有毒性VOCの重要性と健康影響」

16:50 - 茶谷 聡 博士(日本, 株式会社豊田中央研究所)

「日本におけるPM2.5とオゾンの生成機構と効果的な将来シナリオに関する研究」

17:15 - 賀 克斌教授(中国, 清華大学環境学院)

「中国のPM2.5とヘイズの制御: 排出量と観測からわかること」

17:40 - 総合討論

18:00 - 閉会

ポスター (PDFファイル 2,326KB)

主催: 第55回大気環境学会松山年會, 公益財団法人大気環境学会
第55回大気環境学会年会併催
公開国際シンポジウム
The 55th Annual Meeting of
Japan Society for Atmospheric
Environment
Open International Symposium

- ・日時: 2014年9月18日(木) 15時50分～18時00分
(15時00分～受付開始)
- ・場所: 愛媛大学 城北キャンパス 南加記念ホール
- ・講演言語: 英語(英日同時通訳)
- ・Date/Time: 18 September 2014 / 15:50～18:00
(Doors open at 15:00)
- ・Venue: Ehime University, Nanka Memorial Hall
- ・Official Language: English

オゾン, VOC, PM2.5の生成機構解明と対策シナリオ
Formation Mechanism of Ozone, VOCs, and
PM2.5, and Countermeasure Scenarios

プログラム Program
座長: 大原 利真(国立環境研究所), 神田 勲(愛媛大学)
Chair: Toshiro Ohsawa(National Institute for Environmental Studies), Naoki Kaneda(Ehime University)

15:50 - 開会挨拶 若松 伸司(愛媛大学)
Opening Remark Shigehi Wakamatsu(Ehime University)

16:00 - ビクトル・パラモ博士(メキシコ, 国立環境気候変動局), SATREPS(JST/JICA)
Dr. Victor Paramo(Mexico, National Institute of Ecology and Climate Change), SATREPS(JST/JICA)
「メキシコにおけるオゾン, VOC, PM2.5の生成機構解明と対策シナリオ」
"Formation Mechanism of Ozone, VOCs, and Countermeasure Scenarios in Mexico"

16:25 - ペク・スンオク教授(韓国, 嶺南大学校環境工学部)
Professor Peck-Sun Ok(Korea, Department of Environmental Engineering, Yeungnam University)
「韓国におけるPM2.5と有毒性VOCの重要性と健康影響」
"Significance and Health Implications of PM2.5 and Toxic VOCs in Korea"

16:50 - 茶谷 聡 博士(日本, 株式会社豊田中央研究所)
Dr. Satoh Chikami(Japan, Toyota Central R&D Lab., Inc.)
「日本におけるPM2.5とオゾンの生成機構と効果的な将来シナリオに関する研究」
"Study on formation processes and effective future scenarios for PM2.5 and ozone over Japan"

17:15 - 賀 克斌教授(中国, 清華大学環境学院)
Professor Ke-bin He(China, School of Environment, Tsinghua University)
「中国のPM2.5とヘイズの制御: 排出量と観測からわかること」
"Controlling PM2.5 and Haze in China: Implication from Emission and Observation"

17:40 - 総合討論
Discussion

18:00 - 閉会
Closing

連絡先: 愛媛大学農学部大気環境科学専攻内
第55回大気環境学会松山年會事務局
Mail: info@atmenvi-eu.jp
E-mail: info@atmenvi-eu.jp
Tel: 0931-851-3833

一般参加費: 無料 (Free)
座席費: 1,000円 (Seat Fee)
Showings: 10:00 (Start at reception)

■ その他

ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

満席の場合、入場を制限させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ お問い合わせ先

愛媛大学農学部大気環境科学研究室内

第55回大気環境学会松山年会事務局

E-mail: jsae55em@agr.ehime-u.ac.jp

Tel・Fax: 089-946-9851

<農学部>

[前のページに戻る](#)

[ページの先頭へ戻る](#)